

TOPPANグループの概要

持株会社制への移行

2023年10月、TOPPANグループは、ホールディングス体制に移行しました。持株会社制への移行の最大の目的は、グループガバナンス強化によるグループシナジーの最大化です。

「TOPPANホールディングス株式会社」がガバナンスを発揮して各事業会社との連携を強め、協働・共創を通じて、新たな価値創造のスピードを上げていきます。グループ企業各社がもつ様々なリソースやビジネス、サービスを組み合わせ、成長分野であるDX事業、SX事業、新事業を拡大し、事業ポートフォリオの変革をさらに推進していきます。

さらに、グループのさらなる成長に向けて、2026年4月にTOPPAN

株式会社、TOPPANエッジ株式会社およびTOPPANデジタル株式会社の3社を合併することを決議しました。経営資源、顧客基盤を一体とした戦略を遂行し、グループ全体でのシナジーを創出していきます。

グループ再編の変遷

2021年11月：2023年10月頃を目途に持株会社体制へ移行することを基本方針とし、グループ組織再編に向けて検討を進めることを発表。

2023年3月：全体編成に先駆け、分割準備会社として「TOPPAN株式会社」および「TOPPANデジタル株式会社」を設立。

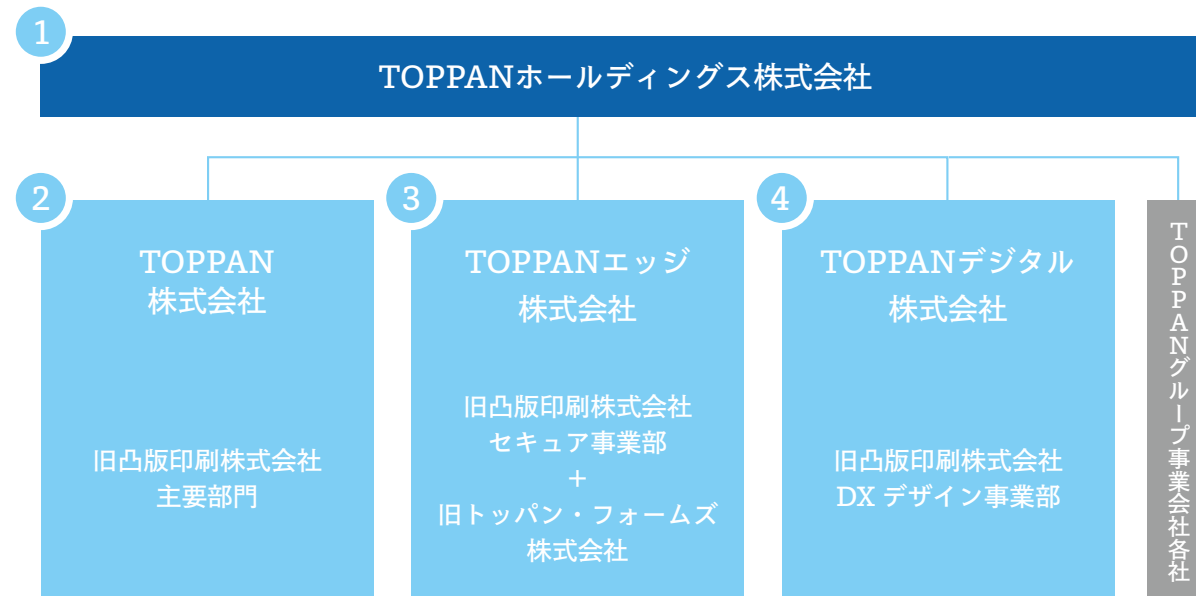
2023年4月：凸版印刷株式会社のセキュア事業とトッパン・フォームズ

株式会社の事業を統合した「TOPPANエッジ株式会社」を設立。

2023年10月：「凸版印刷株式会社」から「TOPPANホールディングス株式会社」に社名を変更。凸版印刷株式会社の主要部門を母体とする「TOPPAN株式会社」、「TOPPANエッジ株式会社」およびTOPPANグループ全体のDX事業推進を牽引する「TOPPANデジタル株式会社」を傘下に置くホールディングス体制に移行し、グループ全体最適の視点から事業会社を一体的に運営。

2026年4月：「TOPPAN株式会社」「TOPPANエッジ株式会社」および「TOPPANデジタル株式会社」の3社を「TOPPAN株式会社」として合併予定。

ホールディングス体制図



各社の役割

- 1 TOPPANホールディングス株式会社**
グループ全体最適の視点から事業会社を一体的に運営
- 2 TOPPAN株式会社**
凸版印刷株式会社の主要部門を母体として継承
情報系/生活系/エレクトロニクス系事業
- 3 TOPPANエッジ株式会社**
情報系の事業ポートフォリオ変革を牽引
セキュア/ BPO事業
- 4 TOPPANデジタル株式会社**
グループ全体のDX事業戦略を推進
DX事業開発/ IT基盤・ガバナンス

事業概要

TOPPANグループは、国内・海外に拠点のあるグループ会社で構成されており、情報コミュニケーション事業分野、生活・産業事業分野、エレクトロニクス事業分野の3事業分野にわたり、幅広い事業活動をグローバルで展開しています。

会社情報（2025年3月31日現在）

本社社名

TOPPANホールディングス株式会社
TOPPAN Holdings Inc.

代表者名

磨 秀晴

創業

1900(明治33)年1月17日

資本金

104,986百万円

売上高

1,717,960百万円

本社事務所

〒112-8531
東京都文京区水道1-3-3
電話:03-3835-5111

従業員数

51,988名

連結子会社数

224社

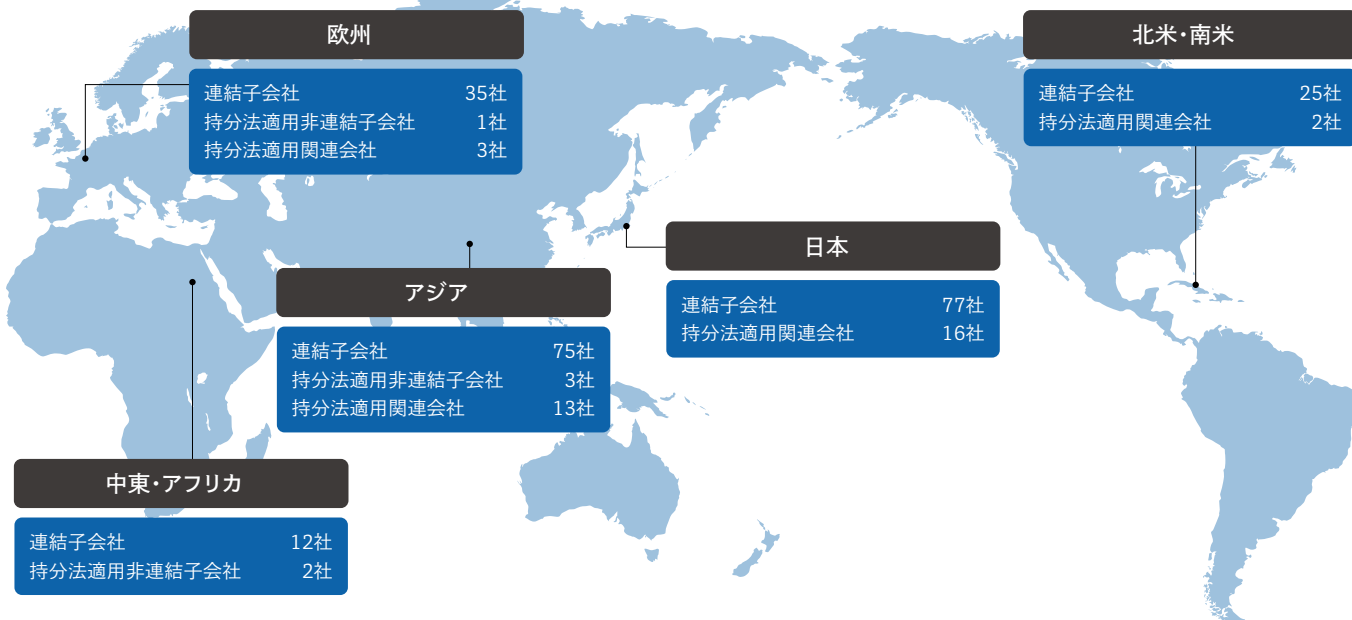
持分法適用非連結子会社

6社

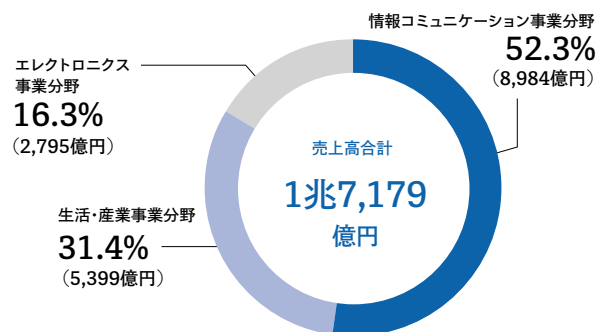
持分法適用関連会社数

34社

地域別会社数



事業構成（売上高構成比率 2025年3月期）



※ 各事業分野の売上高は、セグメント間取引の相殺消去後の金額です

セグメント別事業内容

情報コミュニケーション事業分野

円滑なコミュニケーションを求めるお客さまに対し、「情報の価値を高める」、「情報を効果的に届ける」ソリューションを提供する事業分野

- デジタルビジネス
- セキュアメディア
- BPO
- コミュニケーションメディア

生活・産業事業分野

快適で安心できる生活環境づくりを目指し、様々な製品とサービスをグローバルに提供する事業分野

- パッケージ
- 建装材

エレクトロニクス事業分野

微細加工技術・表面加工技術をベースに、半導体関連やディスプレイ関連の製品を提供する事業分野

- 半導体関連
- ディスプレイ関連